

# 市内小中学校の統廃合問題の進捗状況は。

佐藤 大成 議員

教育長 3月までに道筋を示す。

## 魅力的なカントリーサインを作成せよ

質問 カントリーサイン（市境の標識）は、ある程度自由に作ることが可能である。観光のまち仙北市で今まで魅力ある標識がなかったことは残念だ。具体的に大仙市境には、角館の曳山行事のモニユメントやさくら、岩手県と鹿角市の境には、田沢湖や温泉、阿仁地区との境には、紙風船やかたくり等が候補に挙がると考えている。財源捻出には、「カントリーサイン設置事業」として募集するふるさと納税の活用も良いと思う。上記の市境だけでも魅力ある標識を早急に設置して欲しいが、出来ないのか。

答弁 平成の大合併時に新たに誕生した市の名称や市章をアピールすることを優先して、観光のアピールまでは手が回らなかったことで、魅力ある標識が作成されなかったと考えられる。また、以前より大仙市境には観光案内板が必要ではないかという提言も受けており、実現の為の手法を検討したい。カントリーサインの事案については、早い時期に対応したいと考えている。

## 小水力発電を積極的に進めよう

質問 近年の小水力発電の動向や研究をみると、今後大きな産業振興になると感じている。市内では小和瀬発電所のみでなく、各所で発電可能ではないかと考えている。小水力発電をどのように進め、産業振興に繋げていくのか。

答弁 仙北市には、小水力発電を行えるだけのポテンシャルが十分にあり、地域活性化に繋がると確信している。しかしながら、東北電力から平成28年10月に送電設備の容量が足りないため、電力の受け入れを保留したいという連絡を受けており、発電事業は現在中断している。今後、東北電力へ事業再開に向けて要望活動を行っていく。

## 市内小中学校の統廃合問題について

質問 平成29年度の市内中学校の合同チーム数はいくつか。

答弁（教育長） 野球、サッカー、バスケット、バレーボール、吹奏楽の5競技で5つの合同チームが発生している。

質問 中学校生活において大きなウェイトを占めるのが部活動である。合同チームには、練習環境・送迎等のかなり大きなデメリットがある。1つの目安として、当該中学校に存在する部活動が単独で出場できない状況が数年続いたら、近隣中学校との統廃合の検討を積極的に行うべきと考えるが、教育委員会には、そのような考えはあるか。

答弁（教育長） 練習環境や送迎等の親御さんの負担、デメリットは理解しているつもりだが、部活動は学校生活の一側面である。そのような考えは教育委員会にない。

質問 現在までに総合教育会議や統廃合のアンケートを実施してきた。これらを踏まえ、市内小中学校の統廃合問題をどのように進めていくのかという方針を、今年度中に示したいという話であったが、いつ頃出るのか。

答弁（教育長） 今年度中に統廃合問題の解決に向けての方針とスケジュールを公表する。

（伊藤 邦彦 記）



■地域をアピールするカントリーサインを



■小水力発電の実験の様子（黒倉若松堰）

## 角館総合病院精神科医の退職に どう対応する。

伊藤 邦彦 議員

市長

外来診療は継続出来る。  
秋田大学始め、広く医師の派遣要請を行っている。



■精神科入院病棟の休止が予定されている  
市立角館総合病院

**市立角館総合病院精神科医の退職について**

**質問** 精神科常勤医師3名全員が来年3月末日をもって退職を希望していると聞く。今後の対応について伺いたい。

**答弁**（進藤管理者） 3名全員の退職希望申し入れに大変当惑している。理由はいずれも一身上の都合との事である。

強く慰留に努めたが残念ながら説得は難しい状況にある。しかし、4月以降も外来診

療には協力を願える旨を伺っている。非常勤医師と共に診療は継続できる見込みである。

また、入院については、秋田大学や首都圏医学部へも医師の派遣要請を行っている。入院病棟の継続へ向け医師確保に鋭意努力している。

**市立田沢湖病院の救急医療復活はできないのか**

**質問** 田沢湖病院の救急医療機関を取り下げて10年以上になる。市民の救急医療の復活は強く待ち望んでいると思うが現状を伺う。

**答弁**（進藤管理者） 平成16年から始まった新臨床研修制度に多くの若い医師が高度医療を求め都会へ流失した。このため、当院でもまたもその影響を受け、医師不足が発生し救急患者の受け入れを断念した経緯がある。現在は在宅医療患者や医師が必要とした患者の救急受け入れを行っている。

今後医療スタッフの確保を含め、救急医療の充実に努めていきたい。

**市営落合球場の改修について伺う**

**質問** 表題については、今まさに検討の最中と思うが、どのように改修すべきか、野球関係者や知識に深い人達の考えを聞きながら進めるべきと思うがどうか。

**答弁** たぶんと言う言葉を使わせていただくが、以前議員からも要望が出ている、グラウンド内の2本のコン柱除去また、スコアボードの電子化などを含めての調査がおこなわれると思う。

ただ経費的面も当然調査の



■近々改修工事が予定されている市営落合球場

対象となる。31年度から工事に着手したいとする事業であるが、野球関係者からもご意見をいただきながら相対的に勘案していかなければならぬと思うている。

**角館町中川高屋地区飲料用水について**

**質問** 今年の4月市長並びに職員が高屋地区に入り、地域の方々より飲用水の困窮度を伺ったと聞いた。今その水質の調査中であり結果をもって対応を判断したいと伺った。その結果は来年1月に出ると伺ったが、どのような調査のためにそれほど時間を必要とするのか。

『まさしくスローペース！人の痛みが届かない希薄なお役所仕事と思えてならない！』

**答弁** 平成29年4月から始まりなのに結果の出るのが年明けだとの指摘であると察する。

いかなる状況下でも、その地下水の状態を確認する必要から時間を要すると専門家から伺っている。

（佐藤 大成記）



## 市長選挙投票制度の見直しを。

日本共産党 平岡 裕子 議員



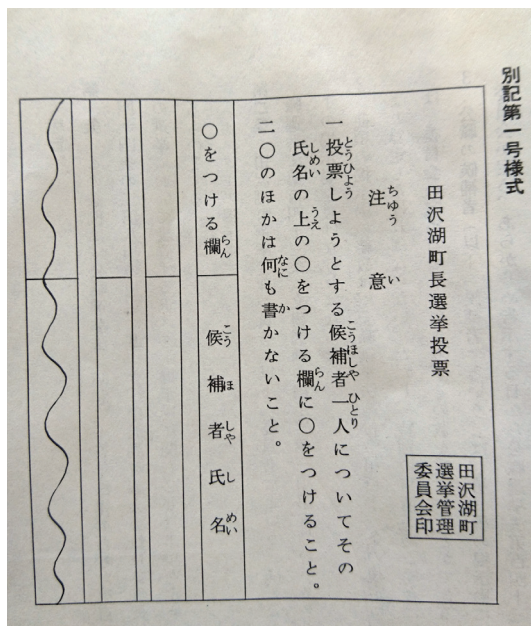
市長

有権者に選挙で自分の名前を書いてもらう  
自書式がよろしいと考える。

### 市長選挙投票制度の見直しを

**質問** 仙北市の市長選挙投票制度は、当日投票に記号式が取られているが、自書式投票に替えられないか。

**答弁** 仙北市は制度で定められており、記号式投票を実施している。期日前投票、不在者投票、点字投票は自書式となっている。以前に比べ記号式投票の有益性が希薄になっていると思う。政治に携わる人間にとっては、有権者に選挙で自分の名前を書いてもらえよう、日常活動をしつかり全うする思いが強い。自書式投票がよろしいのではないかと考える。



■合併前からの制度の見直しを！

### 子育て支援の充実を

**質問** インフルエンザ予防接種助成を高校生まで拡大できないか。また、妊婦さんへの助成も検討すべきである。

**答弁** 大曲仙北医師会のご協力をいただいで、高校卒業まで拡大できるように最大限努力をしたいと思っている。妊婦さんへの助成も実現できないかと考えている。

**質問** 学校給食費の無償化または減額措置等の実現に向かって、検討はしているのか。

**答弁** 給食費の滞納対策を最優先に取り組み、無償化や減額措置については、それによって得られる教育的・福祉

的少子化対策上の効果等も十分に検討したいと思う。

### 小中学校の普通教室にクーラー設置を

**質問** 近年は異常気象により、真夏日の期間が長くなっている。教師と子どもたちの頑張りに応える学習環境づくりをすべきではないか。

**答弁** (教育長) 義務教育学校では、普通教室にクーラーの設置はないが、様々な状況を勘案しながら検討させていただきたい。



■歓迎！放課後児童クラブ教室にクーラー設置

### 市民の安心・安全を維持するために

**質問** 29年11月12日付秋田魁新聞は、一面で「地上イージス、本県候補 政府来月にも決定 山口にも」と報道している。秋田県がミサイル迎撃最前線基地の候補地であるという報道は、県民の安全を守るうえで看過できるものではない。防衛は、国の意向に沿ってという見解を耳にするが、県内すべての自治体に関わる問題なので市長の見解を伺う。

**答弁** 北朝鮮のミサイル発射事案については、国民としても市民の安全安心を守る自治体の首長としても、国際秩序を無視し、世の中を不安に陥れる許されない行為である。イージスアショアの県内配備はマスコミの報道であるので、いたずらに騒ぐことなく動向を見続けたい。首長として適時の確な判断ができるように準備をしている。

(阿部則比古記)

政策実現のため既存の財源を  
しっかり確保すべき。

高橋 豪 議員

市長 税の徴収体制を強化します。

どうする財源確保

**質問** 市長は三期目の公約に財政健全化による新たな財源確保を掲げている。財政は徐々に硬直化しているが、いかなる手法でこれに当るのか。

**答弁** まずは予算規模の縮小化に努める。また、市税等の徴収率向上対策を強化したい。来年度から収納推進課を設置し未収金対策に全力で取り組む。加えて、国・県の補助金や、クラウドファンディング等財源の洗い出しを行う。さらに、市有財産の処分や、事務事業を精査し一切の無駄を省く。ただし、人材育成や福祉、産業振興等は将来のために果敢に取り組む。

**質問** 市税の徴収率は、県内では最下位、全国でも1742自治体中、1723位と非常に低い。新たな課を設置するようだが、目標値を設定するなど具体的に組み込む必要があると思う。

**答弁** 新たな課には職員を10名程配置し取り組む。目標値設定は、新組織の稼働状況にもよるためすぐには難しいが、まずは県の平均を目指す。

子育て・定住・医療  
福祉への取り組みは

**質問** 市政公約では具体的内容はなかったが、結婚・子育て、福祉と健康、定住事業の促進については今後どう取り組むのか。

**答弁** 子育て支援は、在宅保育事業の強化や、保育料助成の所得制限撤廃を検討している。結婚支援としては、「幸せキュービット隊」を組織し出会い創出につなげたい。また、定住事業として空き家



■医師確保対策の強化を！経営安定化が求められる市立病院

対策等も充実させる。引越しい等の諸経費助成も検討したい。

**質問** 市立病院の経営安定化も課題だ。今後の取り組みを伺う。また、角館病院では精神科医3名が今年度末で一斉退職するようだがどうなっているのか。

**答弁** 精神科医の退職理由はあくまで一身上の都合。医師確保に努めているが、最悪の場合4月以降入院病棟を休まざるを得ない。現在の入院患者については他の病院や施設への移動を進めている。病院経営は、収益、患者数の動向を踏まえて適切に行っていく。医師・看護師確保に努め、将来の需要に対応したバランスある病院を目指す。

スポーツ教育環境の  
整備を

**質問** 市政公約では教育環境整備と人材育成に力を注ぐとしているが内容を伺う。また、子供達のスポーツ活動への支援も重要だ。屋内外におけるトレーニング環境の整備について伺う。

**答弁** (教育長) 健全な教育環境整備のため、老朽化した

市内小中学校の改修等を進める。新給食センターは平成32年に供用開始する。また、各学校でのキャリア教育等も行っているが、今後は農業体験、観光案内体験などを積極的にい行い故郷に誇りを持てる教育を進めて行きたい。スポーツ支援は、大会出場への補助等をより充実させる。また、スポーツ施設の修繕等を行っているが快適とは言えず心苦しい。屋外スポーツの冬期間における活動は、限られた施設での調整となるため大変申し訳なく思っている。

災害対策いつも同じ  
場所が被災している

**質問** 本年も7、8月の豪雨により多くの被害が出た。しかも毎回同じ個所が被災している。このことは市政公約にも掲げられたが、早急に取り組むべき最重要事項である。今後どう進めるのか。

**答弁** 災害復旧対策を従来型の現況復旧型から再生防止強化型に変更したい。予算を確保し全力を挙げたい。

(熊谷 一夫 記)



三期目にあって  
どの様なスタンスで向かうのか。

阿部 則比古 議員



市長

他人を変える事は難しいが  
自分が変われば未来も変わる。

これまでの諸問題を  
どうする

**質問** 仙北市の現在抱えている山積する諸課題や諸問題は門脇市長が自ら招き入れた、或いは打つべき時に適切な処置をしなかった、不作為による問題の顕在化、さらには先送り起因する重篤化があまりにも多い。

庁舎問題・(株)食品工業誘致用地の問題・クニマス未来館設計業者の違算問題に関する賠償金の訴訟問題、更には鳴り物入りで招致した、特区の、温泉と医療の成果やドローンや、ブタ等が果たして、



■(株)食品工業誘致予定地の有効活用は。

やがて花が咲いて実がなり市民や国、県にそれなりの成果を見せる事が出来るのか。

ただ税金と労力を浪費しただけの、空騒ぎと徒労に終わるのか、どう考える。

**答弁** これらはいずれも議会にお諮りし、議論を重ねた結果として現在に至っており、様々な思いはあるが、通告の質問項目という位置づけではないようであるのでこれらに関しての発言は差し控える。

職員教育は適切にな  
されてきたのか

**質問** 環境保全センターで発生した職員による贈収賄事件

から相当の時間が経過したが①仙北市職員としての誇りや公僕としての期待される矜持は果たしてしっかり育っているのか。

②多くの優秀な人材を抱えながら、特に若い職員がしっかりと気概と目的意識を持って日々職務に精励し成長する環境にあるのか。

③市長や上司が部下の自発性を促し、叱咤激励しながら後進の成長に十分な努力がなされて来たのだろうか。

④首長としての人事権が適切に反映されて、職員が公正な人事環境と適度な緊張感の中で効率良く競い合うシステム

になっているのか。

**答弁** その後、ガイドラインの周知や人事配置の方針・改善・また、職場内では朝ミーティングや係を越えた情報共有を行い、コンプライアンス研修の実施、私からは各管理職に対しプレーヤーではなく人材育成が最大の仕事だと伝え、機会あるごとに全職員に綱紀粛正の徹底を促してきた。

今はあの事件からやっと立ち直り、市民の皆様のおかげとして職務に邁進するムードが少しずつ高まって来ている状況と認識している。

(門脇民夫記)



■事件の舞台になった環境保全センター

## 地元企業の育成強化を図れ。

田口 寿宜 議員

市長 不断の改善を繰り返していかなければならない。

### これからの4年間の政治姿勢について

**質問** 門脇市政3期目がスタートした。結果を出す4年にするという強い信念のもとに市政運営に努める事と思う。どのようなスタンスで歩んでいくのか所見を伺う。

**答弁** 議会や市民との議論を重視するという1点である。プロセスを無視する行政運営はあり得ないという事を肝に銘じている。オープンな議論は民主主義の根幹である。

市民協働、チーム仙北で官民総出のまちづくりに取り組みたい。

現実を見極めながらも理想を投げ出さない、市民が希望を抱けるまちづくりを進めたい。その為には、人育と財政の健全化が重要かつ必要である。

しがらみや既成概念にとらわれる事なく、一日一日を政治活動の集大成とする覚悟で臨む。

少しでも豊かな気持ちで暮らせる仙北市を目指して

**質問** 少しでも豊かな気持ちで暮らせるようになる為に

は、産業振興基本条例の下での地元企業の育成強化が重要である。産業振興基本条例第4条に記されている市の責務を、あらゆる手法で実施するべきではないか。また、その上で、地元企業の育成強化を図る環境を創り上げていくべきではないか。

**答弁** 産業施策を進めるにあたっては、産業振興基本条例の制定後、本条例の趣旨に忠実に従い、第4条の規定に基づいて、幅広い分野から意見を徴収するとともに、利用者の目線に立った施策を展開して来たつもりである。

しかし、十分という事はもちろんない。この4年間は、

さらに強力に市内企業の育成を支援し、地域産業の振興を着実に進める事が出来るよう、不断の改善を繰り返していかなければならない。

### これからの教育行政について

**質問** 児童・生徒数の減少が進み、学校適正配置についても2校の対象校があるとの事である。時代と共にこのような状況が生まれるのは寂しい限りではあるが、そのような中でも、各学校それぞれが地域との関わりや小・中の連携を持ちながら進んでいるのも事実である。そうした事を踏まえると、

小中一貫を見据えながら、コミュニティスクールを導入し、学校を核とした地域づくりを検討するべきと考えるがいかがか。

**答弁** (教育長) 学校は、地域コミュニティの核としての性格も有し、防災、子育て、地域の交流の場など様々な機能を併せ持っている。

学校を核とした地域づくりの観点からも、コミュニティスクールの導入については、近隣市町村の動向も注視しながら検討を進めて参りたい。

(八柳良太郎記)



■地域企業の発展に向け  
意見を交わす中小企業家同友会の方々



■コミュニティスクールの導入を目指せ



平成28年度一般会計決算が不認定だ。  
早急な是正策をどうする。

八柳良太郎 議員



市長

市民の思いに応え人員配置し  
収納率アップ強力に取り組む。



■山根のスタンド横の通り道

『さくら街道』で景気回復を。古城山にはウソ・熊対策を

**質問** 市の活性化には、さくら資源を活用した「さくら街道」が必要である。角館、西木、田沢湖と開花の時期がそれぞれ違うので4月中旬から5月の連休まで十分活用できる。

さくら祭りの活性化策にはまず古城山全山の桜を開花させる。それにはウソ対策を根本から見直し、有害鳥獣の指定をし、駆除を検討すべきである。

**答弁** 鷹の鳴き声でウソを威嚇する。ウソの天敵として知られる『鷹』の鳴き声を流してウソを威嚇する方法をとる。また有害鳥獣捕獲許可等について古城山への範囲拡大と駆除の手法について猟友会

等関係機関と実施に向けた協議を進めたい。

『武家屋敷で熊の被害』が報道されないように

**質問** 「クマ出没注意」の看板効果は絶大で被害は免れるが人も訪れない。山に安全に上れるように抜本的熊対策、熊が通る角高自転車置き場に近い山に檻を設置し捕獲すべきでは。

**答弁** 熊被害の恐れが発生した時点で、檻の設置に向けて地権者との同意、猟友会との話し合いを進める。角館高校と連携していきたい。

28年度一般会計決算  
不認定をどう考える

**質問** 12月議会の本会議で28年度決算が否決された。不祥事があつたわけでもない。少なくとも「正常ではない」と考える。早急には是正策を講ずべきではないか。

**答弁** 首長に対する不信任案を議決したに等しいと受け止める。28年度の行政運営はゼロだったという受け止め方であり残念な結果である。税の公平性、収納率を高めるということを強く決心した。

債権管理マニュアル  
を徹底しているか

**質問** 税の公平の観点から債権管理マニュアルの徹底をすべきと思うがどうか。

**答弁** 市民負担の公平性の確保に向け滞納者の現状把握、対応方針の決定、回収すべき債権は速やかに回収し、処理債権は法律上適正に処理する。督促や催告に応じない悪質な滞納者には法律に基づき厳正に対処すべく取り組んできたつもりである。しかし、景気の低迷が続いたり、法人の大型倒産等で滞納額の増加と納税環境の悪化に見舞われている状況には届いていない状況である。

入湯税数年分  
なぜ滞納か

**質問** 入湯税は特殊事例を除いて全額納入すべきものと思うがどう考える。

**答弁** 入湯税は15日までに前月分を申告・納入しなければならぬが、預り金である税を期限まで納入せず、再三の催告や差し押さえ予告の末、



■新年度新体制で税の不公平に取り組む税務課

現税務体制でいいか

**質問** 根本的に変える必要があるのではないか。

**答弁** 議員、議会、市民の願いにこたえて収納率を高めるには現在の税務体制では人手が足りない。来年度は現在の収納対策室を収納推進課として10名程度の人員を配置し、収納率アップに強力に取り組んでいきたい。

(田口寿宜記)

# 総合産業研究所の農林部統合は遅すぎたと思うが。

安藤 武 議員



市長

組織を集約し、職員不足を補なわなければならない現状だ。

**総合産業研究所の成果は検証したのか**

**質問** 総合産業研究所は、かつて農林課、商工課で扱っていた内容と変わらず優秀な人材を投入した割には、その成果が出なかった。

市長の判断は遅すぎたと思うが、どう検証したのか。

**答弁** 新規作物の導入、商品開発、産業の育成、雇用拡大による所得向上を目的に設置した。設置から8年、やるべきことが見えてきた。農産物の加工品の販路拡大、薬用作物の拠点化、直売所の支援、道の駅構想への対応などである。

これまで業務を展開してきたが、今後は組織を集約して総合力で職員不足を補なわなければならない現状だ。

農林部は農業振興課、農林整備課、農山村体験デザイン室の2課1室としたい。

**米の生産調整見直しはどうなるのか**

**質問** 農家は減反廃止と聞いて生産調整がなくなったと解釈している。

激動する農政は、農家のためにあると理解してきたが、

今回の米の生産調整見直しの意図は図りかねる。時間がないうちでの農家への周知までの手順を伺う。

**答弁** 来年度産米から数量目標の配分は廃止となる。産地自らの判断に基づく目安配分となる。県の生産目安408,700トンの米の生産量は決定している。12月中旬に再生協議会を開催して、各集荷業者に生産の目安を提示し、1月中旬に各農家に周知したい。

**質問** 仙北市は平場と山間部の収量差が大きい。基準収量に不満を持つ農家への対応を



■転作地に植栽された薬草（ピアクシ）

しているのか。また、所得安定対策に変化はあるのか。特にこれから基盤整備に向かう地域では互助制度がどうなるか心配だ。

**答弁** 再生協議会でも以前、基準収量の問題について私も不公平だとしたが難しい案件だとして、深掘りをして行くには時間が必要だとして結論が出なかった。

**答弁（農林部長）** 基準収量は合併当時の各町村の水田協議会の収量を基準に算定している。

水田活用の直接支払い交付金（麦、大豆、飼料作物）畑



■薬草（シャクヤク）栽培状況

作物の直接交付金は変わらないと聞いている。産地交付金は取り組み次第で、少しは違ってくるかも知れないと言われている。互助制度については現在10アール当たり12,000円で進めているが、今の段階では方向が決まっていけないので少し時間を頂きたい。

**角館庁舎について伺う。**

**質問** 角館新庁舎に事業部門を集約する構想がスタートしているが、議員有志による西木庁舎に農林部を残す要望はどうするのか。

**答弁** 合併特例債を活用するには、合併による効率化、合理化が見込める整備計画が求められる。事業部門を角館庁舎に集約することは、これに沿うものである。

6月議会の補正予算で地質調査、基本設計に係る経費を認めて頂いている。市民に対する説明も議会のコンセンサスも、これ以外のプランはない。

（大石温基記）